

災害に備えよう

災害が起こる前に、自宅の防災対策を再確認しましょう。

「避難」に備えて

避難をするときは、水や食料など必要なものを非常持出品として、持っていくようにしましょう。

【非常持出品・常備品 チェックリスト】

備蓄品 災害に備えて用意しておきたいもの

☐懐中電灯
☐携帯型ラジオ
☐携帯電話

☐医薬品
☐マスク
☐体温計

☐貴重品・現金
※小銭は公衆電話などに便利です。

☐飲料水
(1人1日3リットル)
☐非常食

☐衣類(肌着類も)

「水害」に備えて

台風が来る前に風で飛ばされそうな物は事前に室内に入れたり、雨水が流れやすいように自宅や周辺の雨水ますの掃除をするなどの対策をしておきましょう。

「地震」に備えて

耐震診断を受けて家屋の耐震性を確認し、耐震性が低い場合には改修をしておきましょう。家具の転倒防止やガラスの飛散防止などの対策をしておきましょう。

耐震についての問い合わせ先
産業建設部まちづくり推進課
TEL.0567-95-1111

防災情報は自ら入手しましょう

地震や大雨などの災害が発生した時、または災害が発生する恐れがある時は、防災に関する情報を、テレビ・ラジオだけでなく様々な手段で町民の皆さんにお知らせします。

テレビ・ラジオ等

ホームページ

エリアメール等



同報無線
同報無線が聞き取りづらいたは、放送後24時間以内に「同報無線ダイヤル0567-96-6506」に電話すると放送内容を確認することができます。



もし災害が発生したら

「大規模な地震」が発生したら

- テーブルの下に隠れるなど、わが身(家族)の安全を守りましょう。
- 揺れている最中に火を消そうとするのは危険です。
- 屋外では狭い路地、塀ぎわ、川べりに近寄らないようにしましょう。
- 車の運転中は、揺れがおさまるまで車外に出ないようし、車から離れるときは、キーをつけたままでドアロックしないで降りましょう。



「水害」が発生したら

- 正確な情報収集をし、危険を感じたら自主的避難をしましょう。
- 氾濫水が身近に迫っている場合は近くの堅牢な高い建物に避難し、救助を待ちましょう。(垂直避難)
- 動きやすい格好、二人以上で避難しましょう。
- 30cm以上水深があると、歩いて避難するのが困難になります。身の安全を確保し救助を待ちましょう。



「火災」が発生したら

- あわてず、すぐに119番へ通報しましょう。
- 水や消火器などを使って初期消火を行いましょう。
- 火が天井まで燃え移ったら消火できません。早めに避難しましょう。
- 避難はタイミングを逃さず、低い姿勢で。
- いったん避難したら、再び戻らないようにしましょう。
- 近隣で火災が発生した時は、早めに避難の準備をしましょう。



救助・救援について

南海トラフ地震のような大災害の場合、被害のない遠隔地の自衛隊、消防、警察の部隊を始めとした救助・救援部隊が、発生から3日以内の被災地での本格的活動を目指します。

確認が終わったら、見やすいところに保存しましょう。

蟹江町 防災マップ

保存版

Kanie Town Disaster Prevention Map

いざという時に備え、日頃から避難場所や避難ルートなど確認しておきましょう。

【蟹江町防災情報メール(気象情報・防災情報)】 防災情報アプリ

町民等の皆さんが防災情報を受け取れるよう、携帯電話やパソコンへ様々な防災情報をメールで配信するサービスです。登録は無料です。ぜひご利用ください。



コードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。
もしくは、bousai.kanie-town@raiden.ktaiwork.jpに空メールを送信してください。

コードを読み取ってスマートフォンでアプリ「Hazardon(ハザードン)」をインストールすると、防災情報が受け取れます。



【お役立ち情報】

災害情報を自ら収集し、危険を感じたときは自主的に避難してください。



【同報無線】

放送内容聞き逃したときは…
自動応答電話サービス

同報無線ダイヤル

TEL 0567-96-6506

このダイヤルで、同報無線の放送を聞き直すことが出来ます。(通話料がかかります)

サイレンが聞こえたら避難行動をとってください!
警戒レベル4(避難指示)以上の避難情報は、防災行政無線から**サイレン(警報音)**でお知らせします。

【災害用伝言サービス「171」&「web171」】

NTTの災害用伝言ダイヤルは、地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。
「災害用伝言ダイヤル171」
利用ガイダンスにしたがってご利用ください。

伝言の録音方法	070にダイヤルする	1 電話番号を利用する(録音は「3」)	2 被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。※市外局番からダイヤルしてください。
伝言の再生方法	170にダイヤルする	2 電話番号を利用する(録音は「4」)	3 被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。※市外局番からダイヤルしてください。

家族等の安全がインターネット上で確認できる。
「災害用伝言板web171」
画面の指示によりご利用ください。

登録方法	070にダイヤルする	1 被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。※市外局番からダイヤルしてください。	画面の指示に従って、文字による伝言を登録してください。
閲覧方法	070にダイヤルする	2 被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。※市外局番からダイヤルしてください。	画面の指示に従って、文字による伝言の追加登録をしてください。

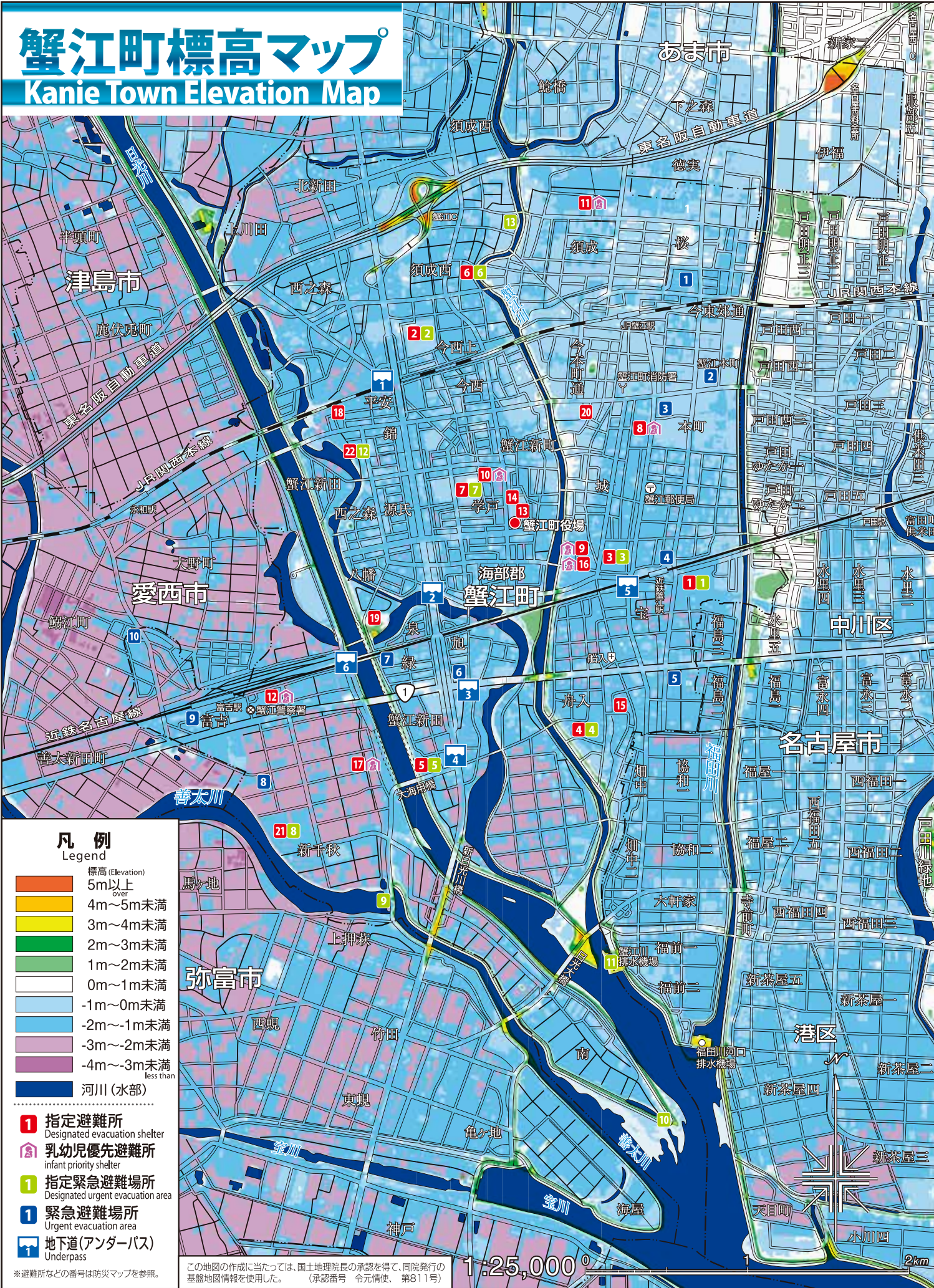
多言語でご覧いただけます、アプリをダウンロードしてお使いください
Available in multiple languages, please download the app and use it

Google 翻訳™
開発：Google, LLC
無料
Google翻訳は、Google LLCの商標です。

Available on the App Store

Google Play

蟹江町役場 安心安全課 TEL 0567-95-1111 (代表)



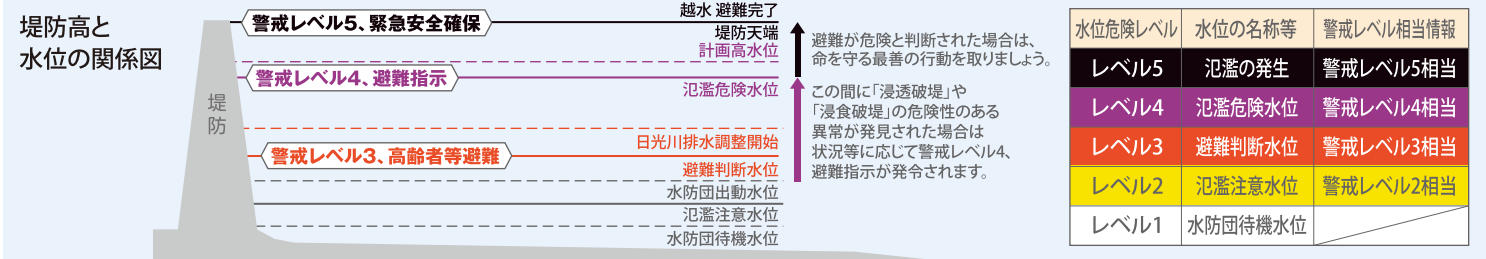
平成12年の東海豪雨や平成20年8月末豪雨を始め、近年、河川や下水道の能力を超える大雨により、浸水被害の発生する可能性が高まっています。また、東日本大震災では想像を超える大津波により、東日本の太平洋沿岸の広大な範囲に甚大な被害をもたらしました。この蟹江町標高マップは、豪雨による水害や地震発生時の津波による被害を防ぐため町内の標高および現時点における避難所などを表示しました。この地図を参考に自宅や勤務先等の標高を確認し、水害や津波被害時の避難場所や避難経路をご家庭や地域の皆さんと話し合い、日ごろから災害に備えてください。

※この地図で示しているのは標高であり、津波の遡上高シミュレーション結果等を反映したものではありません。

危険な場所から全員避難してください。

【警戒レベル③、④】が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。

【警戒レベル3】 高齢者等避難	【警戒レベル4】 避難指示	【警戒レベル5】 緊急安全確保
避難行動要支援者など避難に時間を要する方が避難を開始しなければならない段階	危険な場所から全員避難しなければならない段階	災害が発生又は迫っている状況
避難行動に支援が必要な方、避難に時間を要する方及び支援をされる方は、危険な場所から避難してください。通常の避難行動ができる方は、避難準備を整えてください。もしくは自主的に避難してください。	危険な場所から直ちに避難してください。避難行動が危険と判断される場合には、屋内安全確保を含めて直ちに命を守る行動をとってください。	直ちに命を守るための最善の行動をとってください。



蟹江町の日光川、蟹江川、福田川などの河川周辺地は、大雨時や洪水が発生した場合には、氾濫水の排水をすることができなくなることがあります。特にマップ中の☒の箇所は、道路の地下道「アンダーパス」を示しており、周辺の地盤より低いところを通っているため危険性の高い箇所となります。冠水時には地下道「アンダーパス」を利用しないでください。

- ☒ 西之森地下道……………県道津島・蟹江線(UR交差点)
- ☒ 八幡地下道……………一宮・蟹江線(佐屋川橋下)
- ☒ 芝切横断地下道……………芝切交差点近く
- ☒ 新蟹江小東地下道……………新蟹江小学校東側
- ☒ 蟹江地下道……………蟹江小学校南側
- ☒ 日光川防災道路地下道………県道平和・蟹江線(近鉄交差点)

道路が冠水するような状況では、**地下道(アンダーパス)は危険箇所となります。**

津波被害から身を守る

津波予報の種類	予報の種類	解 説	発表される津波の高さ
気象庁は、地震発生から約3分を目標に、津波警報等を発表します。	大津波警報	3mを超える津波が予想されます。	5m、10m、10m超
	津波警報	1mを超え、3m以下の津波が予想されます。	3m
	津波注意報	0.2m以上、1m以下の津波が予想されます。	1m
	津波予報	0.2m未満の海面変動が予想されます。	留意事項等を発表

大規模地震が発生

【津波避難のポイント】

蟹江町全域が津波災害警戒区域に指定されています。南海トラフ地震等により伊勢湾に津波警報、大津波警報が発表された場合、避難指示(緊急)が発令されます。避難が危険な場合には、垂直避難等の屋内安全確保により、命を守る行動をとってください。

避難所等を目指して

予想外の津波から逃れるために緊急避難所など付近の予想される津波の浸水深より高い所に避難して下さい。

緊急避難場所はこのマークが目印です。

●徒歩で避難を

原則として、車で避難をするのはやめましょう。車の避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになります。

●海岸や川沿いには近づかない

地震の後には、護岸や堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険です。決して近寄らないようにしましょう。

●寄り道はしない

津波からの避難には一刻を争います。家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、まっすぐ避難先に向かいましょう。

津波避難 3原則

- 1 想定にとらわれなく
- 2 最善を尽くせ
- 3 率先避難者になれ